

授業科目名	ヒロシマのころ				科目コード	E1002	
担当者	古澤 敏昭 / 佛圓 弘修・二宮 孝司				履修区分	必修	
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 平和とは何か、現在の国際社会において平和の大切さ、難しさを学び、一人ひとりが何をしなければならないかを考え、平和な心と豊かな人間性の大切さを学修する。真の恒久平和は、武力ではなく平和的手段によって、日常生活での地道な実践の積み重ねから実現できるもの。「平和をつくる」ことの意義と具体的方法論について核被爆の実相と「ヒロシマのころ」に照らしながら考察する。							
(到達目標) ① 「原爆被災の実相」(物理・医学・人道的)の正確な理解 ② 「ヒロシマのころ」(被爆者の心情・核廃絶への決意)の継承と実践 ③ 「平和を創る」という意識の向上と日常生活での実践、並びに「建学の精神」の体現							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業の妨げになるので私語は禁止。配布のレジメと資料を中心に講義を進める。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	「建学の精神」の体現①					古澤 敏昭	
2	「建学の精神」の体現②					古澤 敏昭	
3	オリエンテーション (授業の概要や授業計画、評価方法等の説明)					佛圓 弘修・二宮 孝司	
4	広島県・市における平和教育(小学校実践・「へいわノート」の活用)					佛圓 弘修・二宮 孝司	
5	ヒロシマの文学とその周辺					佛圓 弘修・二宮 孝司	
6	見学の観点・解説と計画立案					佛圓 弘修・二宮 孝司	
7	フィールドワーク①(平和記念資料館見学と碑めぐり・被爆樹めぐり)					佛圓 弘修・二宮 孝司	
8	フィールドワーク②(平和記念資料館見学と碑めぐり・被爆樹めぐり)					佛圓 弘修・二宮 孝司	
9	フィールドワーク③(平和記念資料館見学と碑めぐり・被爆樹めぐり)					佛圓 弘修・二宮 孝司	
10	フィールドワーク④(平和記念資料館見学と碑めぐり・被爆樹めぐり)					佛圓 弘修・二宮 孝司	
11	見学のまとめとプレゼンテーション					佛圓 弘修・二宮 孝司	
12	「原爆被災の実相」「核兵器を巡る今日の状況」の理解					佛圓 弘修・二宮 孝司	
13	「平和を創る」行動化(「ヒロシマ」から「ひろしま」へ)					佛圓 弘修・二宮 孝司	
14	「平和を創る」行動化(指導案をつくってみよう)					佛圓 弘修・二宮 孝司	
15	これからの平和教育実践に求められる資質・能力					佛圓 弘修・二宮 孝司	
成績評価方法							
授業内で記入するコメントシート 60%、討論や観察の内容と主体的なかかわり 40% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
広島市平和教育プログラム/へいわノート		広島市教育委員会		株式会社中本本店		広 X3-2012	
広島県教育資料		広島県教育委員会					
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
授業での課題等のもとより、平和問題について日常生活でも疑問を感じたら、そのままにはせず、どのように考えるべきかを探求していきましょう。そのうえで、他者と議論をすることで自分の考えをさらに深めましょう。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
直接研究室を訪ねるか、担当教員もしくは事務を通してメール等で連絡してください。							